

# はにい

## 夏休みの教室

平成26年10月17日

夏休み。子どもたちがいない学校。

先生たちは一つの教室に集まって、1学期に行った「学校生活についてのアンケート」の分析結果をもとに、2学期の指導計画を練っています。

先生方が見ているのは、アンケートをまとめた資料。



「〇〇さんは自己評価が低いのが気になるね」  
「そうだねえ。学校ではそんな風に見えないけれど」  
「お母さんに聞いたら『家であんまり褒めて育ててこなかったかもしれない』って仰ってましたが」  
「〇〇くんも、似ているところがあるよね」  
「〇〇くんの場合、学級の中で自分は認められていない、っていう思いがあるのかも」

「クラス全体で見ると、2学期には『自分づくり』のプログラムをやるといいかな」

このような全体的な分析から始まって、とくに気になる子については、その子個人のアンケート記録を詳しく見ていきます。

「なるほど、この子の場合、一つ一つの回答を見ても『自己効力感』や『自尊感情』が低いと出てますね」

「となると、この子の得意なところって、どこでしょうか」

「運動が得意ですね」

「そういえば、リレーの選手に選ばれました」

「そのあたりをのびのびやらせるといいかなあ」



一つ一つの学級について、そして一人ひとりの子について、チームで見っていきます。

そして後半は、複数の教師で多面的に検討しながら、効果的だと考えられる具体的な支援策や「指導プログラム」を計画していきます。

「では、このクラスのいいところを伸ばすプログラムを考えましょうか」

「そうですね、このクラスはそれぞれの見方や感じ方の違いを認め合っているのです、その良さを伸ばして、自己評価が低い子たちの自尊感情を高めたいですね」

「じゃあ、そんなプログラムを探してみましよう」

先生方は100以上ある指導プログラムを順にめぐりはじめました。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合いましょう。  
ご意見・ご感想は → [inochi4027@pref.kanagawa.jp](mailto:inochi4027@pref.kanagawa.jp)